

REPORT 2023

城北信用金庫の近況

令和5年度上半期



城北信用金庫

平素は城北信用金庫をお引き立て賜りまして誠にありがとうございます。
 本パンフレットは、令和5年度上半期の事業概況をご報告し、皆さまに弊金庫についてのご理解を一層深めていただくために作成いたしました。ぜひご覧賜りますようお願い申し上げます。
 城北信用金庫は、今後とも皆さまに安心してお取引引きいただけるよう努めてまいります。
 より一層のご支援を賜りますよう、役職員一同、心よりお願い申し上げます。

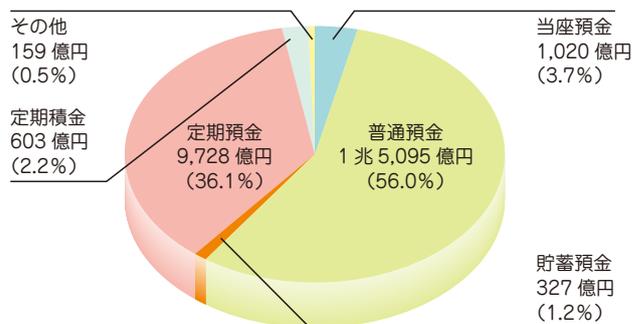
令和5年度上半期の業績概況

預積金残高は2兆6,933億円、貸出金残高は1兆3,197億円となりました。

小口のご契約を中心に、広く地域のお客さまにお取引いただきました結果、令和5年9月末の預積金残高は2兆6,933億円(3月末対比256億円増加)、貸出金残高は1兆3,197億円(同96億円増加)となりました。また、国債・証券投資信託・個人年金保険などの預かり資産残高は、444億円(※)(同45億円増加)となりました。

※9月末時価換算

●預積金残高の科目別内訳 (令和5年9月末)

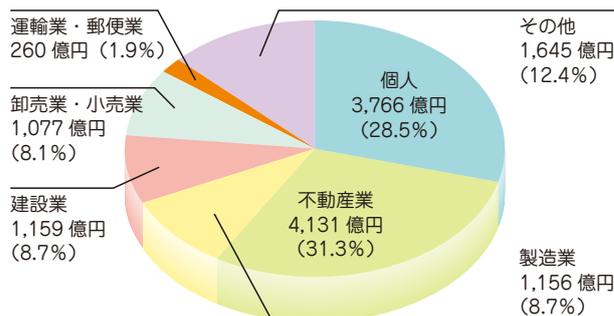


業務純益は40億円、経常利益は41億円、当期純利益は32億円となりました。

低金利が続く厳しい収益環境となりましたが、効率的な業務運営に努めた結果、上半期は業務純益(※)40億円、経常利益41億円、当期純利益32億円を計上いたしました。

※利息・各種手数料・有価証券等の運用損益など金融機関本来の営業活動によって得られた利益

●貸出金残高の業種別内訳 (令和5年9月末)



1,157億円の自己資本を備えております。

9月末の自己資本の額(※1)は1,157億円(3月末対比16億円減少)となりました。貸出金・有価証券などにより構成されるリスク・アセット等の額の合計額は1兆4,242億円(同394億円増加)となり、自己資本比率は8.12%となりました。自己資本の額は、総所要自己資本額(リスク・アセットからみた当金庫が備えるべき自己資本の額(※2))569億円を大きく上回っており、「健全で問題のない金融機関」の国内基準を十分に満たしております。(いずれも単体ベース)



※1 単体自己資本比率算出上の分子の額
 ※2 リスク・アセット等の額の合計額(単体自己資本比率算出上の分母の額)×4%

きめ細かなコンサルティングでお取引先の経営改善・再生支援に努めた結果、金融再生法上の不良債権比率は3.92%となりました。

金融再生法上の不良債権は520億円、不良債権比率は3.92%となりました。なお、これらの債権については、担保・保証などによる保全に加え、相応の貸倒引当金も計上しております。

有価証券残高は9,066億円となりました。運用にあたっては、適切なリスク管理に努めています。

9月末の有価証券残高は9,066億円となりました。種類別では、国債(19.0%)・地方債(13.6%)などの国内債券が5割以上を占めています。

主要計数

●預積金残高

(単位：百万円)

	令和5年3月末	令和5年9月末
当座預金	97,054	102,005
普通預金	1,460,296	1,509,519
貯蓄預金	33,424	32,745
定期預金	992,771	972,856
定期積金	64,136	60,363
その他の預金	20,032	15,909
合計	2,667,715	2,693,398

●貸出金残高

(単位：百万円)

	令和5年3月末	令和5年9月末
割引手形	13,774	14,048
手形貸付	63,458	66,742
証書貸付	1,225,210	1,231,131
当座貸越	7,595	7,808
合計	1,310,039	1,319,730

●貸出金残高の業種別内訳

(金額単位：百万円)

	令和5年3月末		令和5年9月末	
	残高	構成比(%)	残高	構成比(%)
貸出金合計	1,310,039	100.00	1,319,730	100.00
うち製造業	118,096	9.01	115,602	8.75
うち建設業	116,541	8.89	115,967	8.78
うち運輸業、郵便業	26,208	2.00	26,087	1.97
うち卸売業、小売業	106,840	8.15	107,744	8.16
うち不動産業	398,364	30.40	413,143	31.30
うち個人	380,577	29.05	376,632	28.53

●収益の状況

(単位：百万円)

	令和4年9月末	令和5年9月末
業務純益	5,413	4,005
実質業務純益	5,413	4,005
コア業務純益	5,463	4,005
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	5,436	3,706
経常利益	5,305	4,190
当期純利益	3,895	3,288

- (注) 1. 業務純益 = 業務収益 - (業務費用 - 金銭の信託運用見合費用)
 2. 実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額
 3. コア業務純益 = 実質業務純益 - 国債等債券損益

●単体自己資本比率・単体自己資本の構成（国内基準）

(金額単位：百万円)

	令和5年3月末	令和5年9月末
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	115,980	114,290
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,706	1,706
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	523	508
コア資本に係る基礎項目の額	118,210	116,505
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。)の額の合計額	813	785
コア資本に係る調整項目の額	813	785
自己資本の額(イ)-(ロ)	117,396	115,720
信用リスク・アセットの額の合計額	1,324,148	1,363,556
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	60,697	60,697
リスク・アセット等の額の合計額	1,384,845	1,424,254
自己資本比率(ハ)/(ニ)	8.47%	8.12%

- (注) 1. 当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。
 2. 令和5年3月末の自己資本比率は、「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。
 3. 令和5年9月末の自己資本比率は、仮決算に基づき、原則として3月末決算と同様の手順で算出しております。

●自己資本の充実度（所要自己資本額）

(単位：百万円)

	令和5年3月末		令和5年9月末	
	リスク・アセット等	所要自己資本額	リスク・アセット等	所要自己資本額
信用リスク	1,324,148	52,965	1,363,556	54,542
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	60,697	2,427	60,697	2,427
リスク・アセット等の額の合計額・単体総所要自己資本額	1,384,845	55,393	1,424,254	56,970

●金融再生法開示債権の状況

(単位：百万円)

	令和5年3月末	令和5年9月末
金融再生法上の不良債権	54,358	52,083
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	7,667	7,264
危険債権	36,716	35,840
要管理債権	9,974	8,977
正常債権	1,264,899	1,276,545
合 計	1,319,258	1,328,628

(注) 9月末時点の金融再生法開示債権の算定方法は、下記の点について3月末実績と異なるため、9月末と3月末の計数は完全には連続しておりません。

- 令和5年9月末の「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」および「危険債権」は、令和5年3月末時点における債務者区分を前提とし、同年3月末から9月末までに倒産・不渡りなどの客観的な事実ならびに債務者区分の引き下げなどがあった債務者について、当金庫の定める自己査定基準に基づき見直しを行った後、すべての債権について同年9月末の残高を反映しております。
- 令和5年9月末の「要管理債権」は、令和5年3月末時点における要管理債権を前提とし、同年3月末から9月末の間に解消となった債権と、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」および「危険債権」に変更になった債権を減算した後、すべての債権について同年9月末の残高を反映しております。

●満期保有目的の債券の時価情報

(単位：百万円)

	種 類	令和5年3月末			令和5年9月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	……	……	……	……	……	……
	地 方 債	……	……	……	……	……	……
	社 債	1,252	1,262	9	647	650	3
	外国証券	……	……	……	……	……	……
	小 計	1,252	1,262	9	647	650	3
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	……	……	……	……	……	……
	地 方 債	……	……	……	……	……	……
	社 債	130	130	……	116	116	……
	外国証券	……	……	……	……	……	……
	小 計	130	130	……	116	116	……
合 計	1,382	1,392	9	763	766	3	

(注) 時価は、期末日における市場価格などに基づいております。

●その他有価証券の時価情報

(単位：百万円)

	種 類	令和5年3月末			令和5年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	20,510	12,933	7,577	28,439	17,427	11,012
	債 券	207,852	206,475	1,376	148,115	147,476	639
	国 債	56,846	56,462	384	26,599	26,505	94
	地方債	68,049	67,579	470	54,386	54,129	256
	社 債	82,955	82,433	521	67,129	66,840	288
	外国証券	15,336	15,300	36	20,660	20,626	34
	そ の 他	74,710	61,667	13,043	82,458	62,292	20,165
小 計	318,410	296,375	22,035	279,674	247,822	31,851	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	5,911	6,605	△693	1,788	2,017	△229
	債 券	282,468	292,606	△10,137	329,708	346,556	△16,848
	国 債	118,651	121,291	△2,640	146,089	152,633	△6,544
	地方債	54,357	56,048	△1,691	69,494	72,298	△2,803
	社 債	109,459	115,265	△5,806	114,124	121,624	△7,500
	外国証券	189,583	200,371	△10,788	214,220	225,919	△11,698
	そ の 他	83,458	100,408	△16,949	80,088	100,110	△20,022
小 計	561,421	599,991	△38,569	625,805	674,604	△48,798	
合 計	879,832	896,366	△16,534	905,479	922,426	△16,946	

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格などに基づいております。

2. 「その他」は、証券投資信託および信託中金優先出資証券です。

なお、市場価格のない株式等および組合出資金は、上記の時価情報には含めておりません。

(令和5年9月末 貸借対照表計上額：子会社株式 190 百万円・非上場株式 168 百万円・組合出資金 42 百万円)

記載計数について

特に注記のない限り、本資料に記載した金額・比率は単位未満切り捨てで表示しております。記載計数は仮決算に基づくものであり、金庫内部で厳格に精査しておりますが、会計監査人の監査を受けたものではありません。

TOPICS ～城北信用金庫の取り組みについて～

公民連携で地域の事業者さまをサポートします！

令和5年6月、東京都北区と『中小企業の支援に関する「業務連携・協働に関する覚書」』を締結し、当金庫職員を「北区ビジネスアドバイザー」として北区に派遣しています。

「北区ビジネスアドバイザー」とは、区内の事業者さまからの経営に関するさまざまなご相談を伺う無料の窓口で、それぞれの課題に応じた専門家・支援機関のご紹介や、販路拡大に向けた具体的なソリューションのご提案、実際に事業所や工場を訪問しての継続的なアフターフォローの実施などにより、地域事業者さまの多様化する経営課題の解決をサポートしています。

今後も、地域金融機関として自治体と連携しながら、地域事業者の皆さまへの伴走支援に取り組んでまいります。



▲左から 当金庫理事長 大前孝太郎、山田加奈子 北区長



「Johoku Athletes Club」が、地域で、世界で活躍中！

スポーツを通じた地域活性化に取り組む「Johoku Athletes Club」では、地域の催しにも積極的に参加しています。令和5年7月に開催された「SDGs体験MATSURI」（主催：東京青年会議所北区委員会）では、アスリート職員と一緒にミニゲームや競技体験に参加しながらSDGsに触れられるブースを出展し、来場者の皆さまに楽しんでいただきました。



えのもと よしの
アイスホッケーの永野元 佳乃 選手が、令和5年8月からスイスのチームでプレーしています。3年後のミラノ大会を目指してレベルアップに挑戦していますので、ぜひ応援をお願いします！

キャッシュレス決済でもっと便利に！

令和5年7月より、当金庫の普通預金口座から、キャッシュレス決済サービス「PayPay」に残高をチャージできるサービスを開始しました。お手持ちのスマートフォンからアプリで本人確認を行い、口座番号などを登録することで、即時にPayPayにチャージすることが可能となります。

また、全国の金融機関共通のアプリ「Bank Pay」にも参加しています。当金庫の普通預金口座をご登録いただくことで、「こたら送金」および「QRコード決済」が便利にご利用いただけます。

各サービスの詳細は、右記より当金庫HPにアクセスの上ご確認ください。



▲PayPay



▲Bank Pay

梶原支店がリニューアルオープンしました！

令和5年8月28日、梶原支店がリニューアルオープンしました。新店舗では、これまで以上にお客さまに寄り添い、より近い距離でご相談をお受けできるよう、窓口カウンターのない独創的なロビーを採用しました。

当金庫では引き続き、お一人おひとりのニーズにきめ細かくお応えできる店舗づくりを進めてまいります。



◆インターネットバンキング利用者を狙った金融犯罪にご注意ください

金融機関などを装ったEメールを送りつけ、偽のホームページへ誘導したり(フィッシング)、不正プログラム(スパイウェア)を仕込むなどの方法により、インターネットバンキングのIDやパスワードなどを詐取し、お客さまの口座から不正に預金を盗み取る犯罪が発生しています。

当金庫では、パスワード等の重要情報を、Eメールや郵便物でお尋ねすることはありません。不審なEメールが届いた場合には、不用意に返信したり、添付ファイルを開封しないようご注意くださいとともに、Eメールに書き込まれたリンク先サイトで、IDやパスワードなどの重要情報を入力しないよう十分ご注意ください。



◆振り込め詐欺・還付金詐欺・義援金詐欺などにご注意ください

振り込め詐欺などに対しては、警察署との連携や窓口でのお声かけを強化して、被害撲滅に努めておりますが、全国的に事件が後を絶たない状況です。「振り込め詐欺」や「還付金詐欺」、震災や水害に便乗した「義援金詐欺」などの手口も繰り返し発生していますので、十分ご注意ください。

突然電話でお金の相談を持ちかけられても…

- 慌てないで！動揺しないで！
- いったん電話を切り、他の家族に相談を！
- すぐに振り込まない！手渡さない！送らない！
- 最寄りの警察署に相談を！

ご家族と相談して決めておきましょう！

- 本人だと確認するための合言葉
 - 勤務先など、携帯電話以外の連絡先
 - 急にお金が必要になったときのルール
- (例) 電話では相談しない・本人が直接受け取る

◆キャッシュカードをだまし取る「カード詐取」が多発しています

警察官や金融機関職員を装った者が、「キャッシュカードが不正に利用されている」とウソを言って被害者宅を訪問し、カードを封筒に入れてさせてすり替え、カードを詐取する事件が多発しています。

警察官や金融機関職員が暗証番号をメモさせたり、キャッシュカードを封筒に入れて保管させたりすることは絶対にありませんのでご注意ください。

暗証番号は言わない！
キャッシュカードは渡さない！



「カード預かります」
「暗証番号をメモして」
という言葉は「詐欺」です!!
不審な電話があったときには、
警察へ110番!



もしくは当金庫
お取引店舗へ
ご一報ください。



城北信用金庫

本 部：〒114-8521 東京都北区豊島1-11-1
本店営業部：〒116-0002 東京都荒川区荒川3-79-7
店 舗 数：90店舗(うち7出張所)
ホームページ：<https://www.johokubank.jp/>

会 員 数：149,813人
出 資 金：35,599百万円
常勤役員数：1,895人
(計数はいずれも令和5年9月30日現在)



城北信用金庫は「Fun to Share」に参加しています



再生紙および植物油インキを使用しています

令和5年11月作成
城北信用金庫 総合企画部